

# 2025年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証

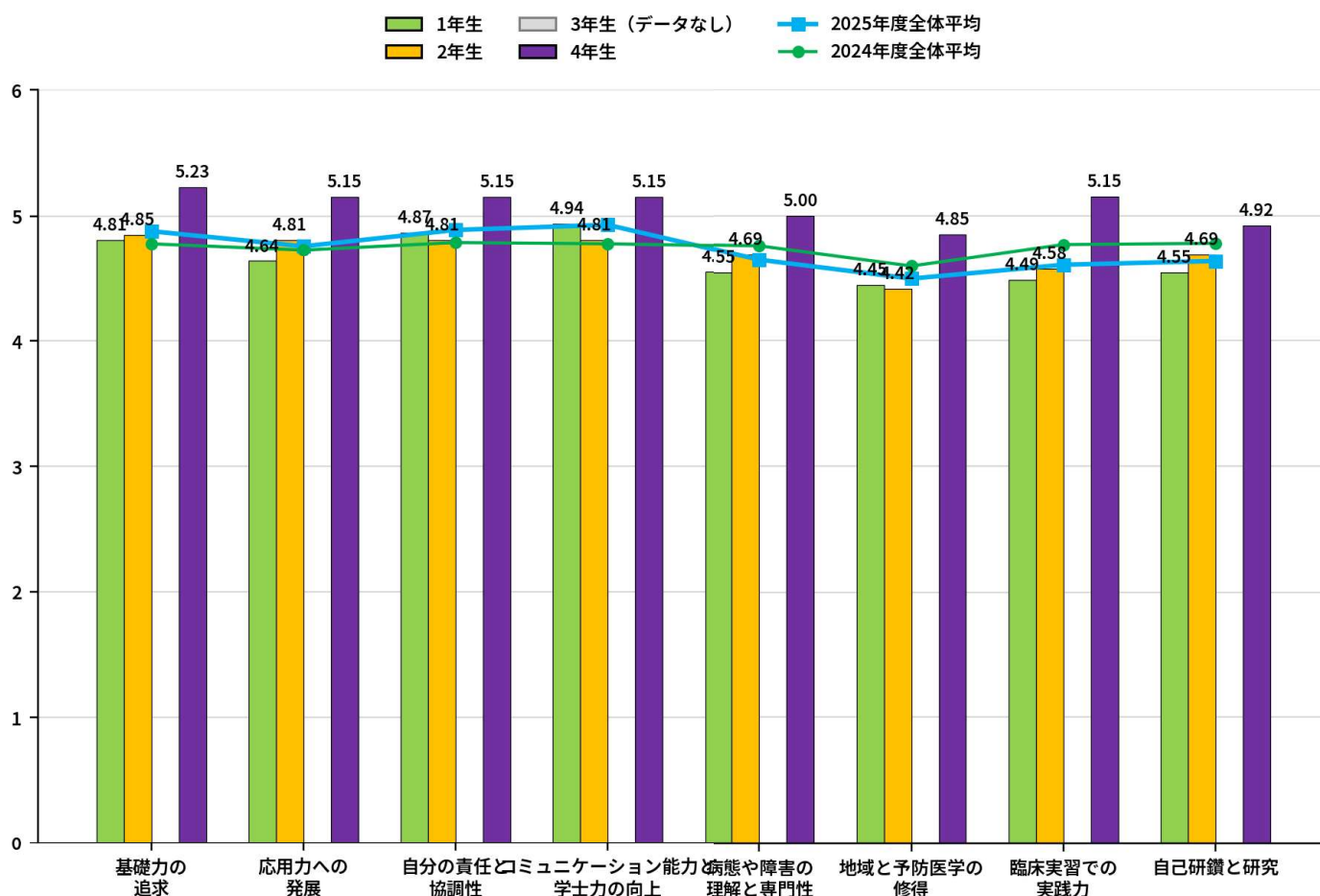
マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢のふり返り（教育課程編成・実施の方針）」のデータを活用した検証です。  
学科の教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）については、本学ホームページ（下記のURL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/dr.html>

学科・研究科専攻名 リハビリテーション学科

理学療法学専攻

- ・分析対象の内訳: 回答者数は、1年生53名、2年生26名、4年生13名であり、3年生のデータは本年度得られなかった。
- ・全体的な傾向・充足度合: 全項目で4.50以上の高い水準を示し、特に4年生では多くの項目が5点前後となった。基礎力の追求、自分の責任と協調性、コミュニケーション能力と学士力の向上は全学年を通じて高く、教育課程の編成・実施の方針が概ね適切に機能していることが伺われる。
- ・前年度との比較: 2024年度全体平均と比べると、基礎力の追求、応用力への発展、自分の責任と協調性、コミュニケーション能力と学士力の向上はやや上昇した。一方、病態や障害の理解と専門性、地域と予防医学の修得、臨床実習での実践力、自己研鑽と研究はわずかに低下したが、全体平均は高水準を維持している。3年生データが欠測であるため、次年度以降も継続的な把握が必要である。



※3年生データは未取得のため、凡例のみ表示した。